

富山県内の
中小企業動向調査

ファースト

Trend

VOL.03

DECEMBER.2019

CONTENTS

特集 富山県の人材不足の実態調査と考察

中小企業動向調査【アンケート実施結果】2019年 7~9月実績/10~12月見込/1~3月予測

新企画

はじめました!

ちょっと
ひといき



First特集

食パン編

県内のおいしい
食パンを紹介します!

雪の五箇山合掌造り集落 (南砺市)

企画/発刊



富山第一銀行

<https://www.first-bank.co.jp/>

ファースト Trend vol.03 目次

【特集】富山県の人材不足の実態調査と考察

- ・富山県は人材不足 1
- ・建設業での人材不足が深刻 1
- ・2019年秋の大型商業施設の増床オープンが人材獲得に与える影響は大きい 1
- ・富山県の人口推移は今後減少傾向が続く 2
- ・富山県の生産年齢人口は2045年には約40%減少する 2
- ・中小企業の大きな問題点は「人材・人手不足」 2
- ・人材不足の対応策として「作業工程の効率化」を進めている 2
- ・最も利用されている求人方法は「ハローワーク」 3
- ・求人で困っていること 3
- ・企業が求人募集の際に重要だと思う項目 3
- ・就職する側が重要だと思う項目は「自分のやりたい仕事ができる会社」 3
- ・外国人技能実習生の活用が増加 4
- ・まとめ 4
- ・アンケート結果からみえる、人材不足の解決方法 4

中小企業動向調査

- I. 企業概況 5
- II. 売上高状況 6
- III. 設備投資動向 7
- IV. 当面の経営上の問題点 8
- 総評 9
- ちょっとひととき
First特集～食パン編～ 10

経営課題の整理から解決までをサポートします。

皆さまのお話をうかがい、市場の動向や企業の強み・弱み・事業計画、戦略立案などを整理・見える化を行い、専門家の派遣や当行ネットワークを活かした支援を行います。

創業期

新たな事業を始めたい！

開業に向けてゼロから相談をお受けします。

新規創業・独立起業サポート

- ①専門家の紹介による事業計画の作成
- ②各種助成制度活用アドバイス など

成長期

～ 成熟期

売上を増やしたい！事業を拡大したい！

多角的な視点に基づいたご相談をお受けします。

経営計画策定サポート

- ①専門家の紹介による経営戦略の作成
- ②法務・税務・財務部門の専門家派遣

ビジネスマッチングサポート

- ①業種毎のビジネスパートナーの紹介
- ②各種相談会の紹介

新事業分野進出サポート

- ①経営革新計画取得に向けたサポート
- ②産学連携による技術開発の支援

新商品開発・農業関連サポート

- ①各種助成制度の活用支援
- ②専門家派遣による事業計画立案支援
- ③農業関連（6次産業）支援

M&Aサポート

- ①市場シェアの拡大
- ②県内外拠点の獲得



海外に進出したい！

中国や東南アジアなど海外拠点への行員派遣の実績もあり、ネットワークを活用したご相談をお受けします。

海外情報提供・現地との連携によるサポート

- ①海外情勢・法規制についての情報提供
- ②海外進出に関する専門家・パートナーのご紹介

承継期

事業を継承したい！

円滑な事業承継のご相談をお受けします。
企業の現状、自社株評価等の把握と整理をお手伝いします。

事業承継計画策定サポート

- ①事業承継計画の立案支援
- ②後継者育成・株式譲渡・各種相談手続の支援
- ③第三者承継支援

ぜひお問い合わせ下さい

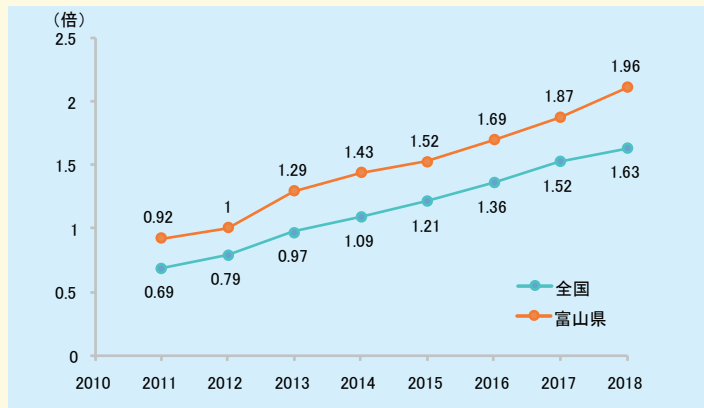


富山県の人材不足の実態調査と考察

日本では少子高齢化社会の進行が重要な問題として取り上げられています。企業の経営者にとって、高齢化社会における労働人口の減少は人手不足を引き起こす大きな原因であり、企業の発展を考える上で、今後取り組んでいかなければならない重要な課題となっています。また、直近でも富山県内の有効求人倍率が2倍になるなど、企業経営にとって人材の確保は喫緊の課題となっています。今回の「ファーストTrend」では、人手不足に焦点をあて、実態調査と考察を行います。

○ 富山県は人材不足

富山県の有効求人倍率は2018年には1.96倍となり、全国平均の1.63倍を大きく上回っています。富山県の有効求人倍率は常に全国平均を上回っており、過去にさかのぼると、1981年以降全国平均を下回ったことがなく、人手不足が深刻な地域の一つです。

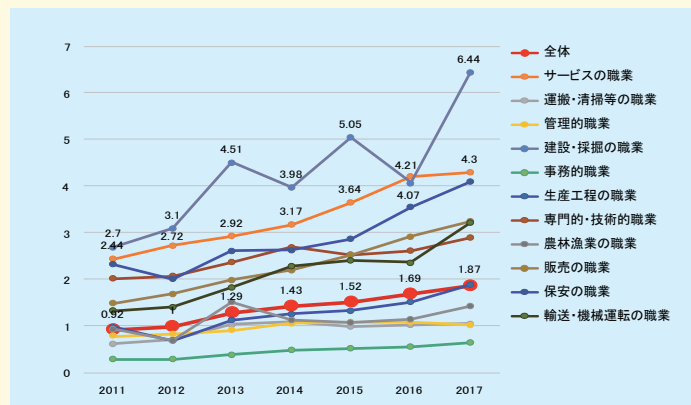


(図1) 全国と富山県の有効求人倍率推移

出典：厚生労働省 一般職業紹介状況（12月基準、2018年は速報値）

○ 建設業での人材不足が深刻

職種での有効求人倍率がどうなっているかをみると、富山県内ではとくに建設業で人材不足が顕著であり、6.44倍となっています。次にサービス業が4.3倍と、業種によっては非常に深刻な人材不足の状況が覗えます。サービス業については、イオンモール高岡やフューチャーシティ・ファボーレの増床オープンにとともに、さらなる人材不足が懸念されています。また、サービス業の人材不足が他業種にも波及する構造となっています。



(図2) 富山県の職業別有効求人倍率推移

出典：厚生労働省 職業安定業務統計

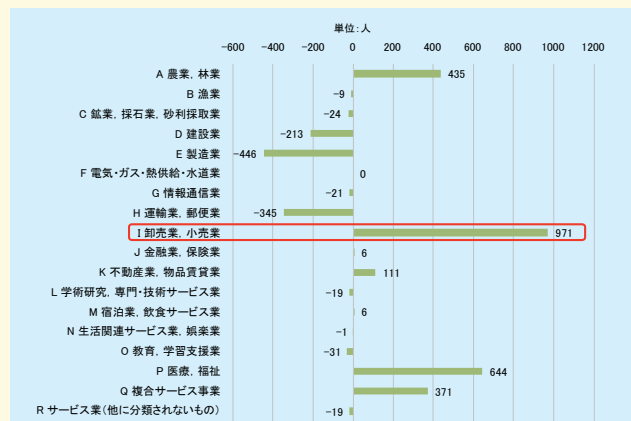
○ 2019年秋の大型商業施設の増床オープンが人材獲得に与える影響は大きい

2015年にイオンモール砺波と三井アウトレットパーク北陸小矢部がオープンした時の状況はどうでしょうか。図3より2012年から2016年にかけて、富山県全体では卸・小売業の従業員数は減少しています。しかし、図4よりイオンモール砺波と三井アウトレットパーク北陸小矢部のある砺波市



(図3) 2016年-2012年 富山県内産業別従業者数の増減数

出典：平成28年経済センサス（総務省統計局）



(図4) 2016年-2012年(砺波市+小矢部市)の産業別従業員数増減数

出典：平成28年経済センサス（総務省統計局）

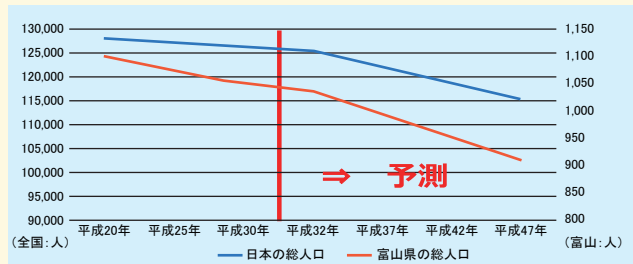
と小矢部市では卸・小売業の従業員数が増加しており、大型商業施設の出店に伴い地域の雇用状況が大きく変わることが分かります。

直近では、2019年秋に県内の大規模商業施設フューチャーシティー・ファボーレとイオンモール高岡が増床オープンしました。2施設合わせて合計で約140店舗程度が増加し、増床に伴う必要な人材は約2千人と推測されます。今後は富山市、高岡市においても同様の従業員数の増減の動きが生じるものと推測されます。

富山県では、現在人材が不足している状況であることがわかります。では、今後はどうなっていくのでしょうか。そして、人材不足に対して私たちがとるべき対策を考察していきたいと思えます。

○ 富山県の人口推移は今後減少傾向が続く

図5より、全国及び富山県とも、人口は減少傾向にあります。また、富山県はここ10年において全国の人口減少率よりも大きく、▲4.6%の減少率です。今後の予測でも、全国▲8.9%に対して富山県は▲13.3%の減少予測となっています。

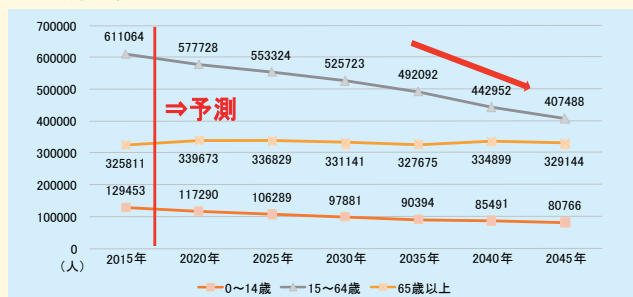


(図5) 全国と富山県の人口推移予測

出典：総務省統計局、富山県、国立社会保障・人口問題研究所

○ 富山県の生産年齢人口は2045年には約40%減少する

富山県の生産年齢人口（15～64歳）の推移予測を見ると、図6より生産年齢人口の減少が今後も進み、2045年には65歳以上人口の水準近くまで落ち込むことが予想されています。生産年齢人口が減少する中で、いかに労働力を確保するか、また人手を必要としない業務形態へ転換を図るなど、人材不足に対する策を講じる必要があるといえます。

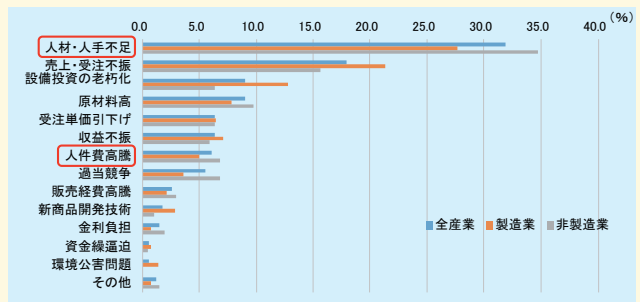


(図6) 富山県の生産年齢人口推移予測

出典：国立社会保障・人口問題研究所

○ 中小企業の大きな問題点は「人材・人手不足」

当行実施アンケートより、当面の経営上の問題点についての項目では、「人材・人手不足」が31.8%と最も高く、次いで「売上・受注不振」の17.9%となっています。人材に関する人材・人手不足以外の項目では、「人件費高騰」と答えたポイントも高くなっており、「人材・人手不足」、「人件費高騰」を合わせた人に関する問題については、37.9%と非常に高い結果となりました。

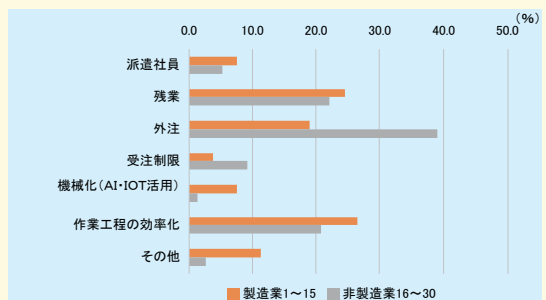


(図7) 経営上の問題点

出典：当行実施アンケート

○ 人材不足の対応策として「作業工程の効率化」を進めている

人材不足の対応策として、「作業工程の効率化」を進めている企業が多いことが見てとれます。「残業」に次いで「外注」は特に建設業で多い結果となっています。また「残業」という回答も多いですが、これから働き方改革が進むと予想され「残業」だけでは対応できない状況も起こりえます。今後は「作業工程の効率化」が大きなポイントとなっていくと考えられます。さらに、AI・IoTの活用にも注力していく必要があります。

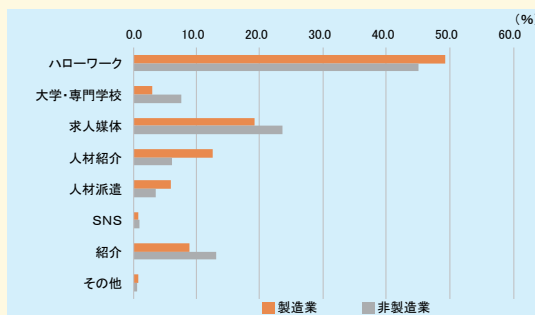


(図8) 人材不足の対応策

出典：当行実施アンケート

○最も利用されている求人方法は「ハローワーク」

県内企業は人手不足に対し、どのような求人方法を採用しているのでしょうか。図9より「ハローワーク」が最も高く、製造業で49.3%、非製造業で45.0%という結果となりました。さらに、非製造業では「求人媒体」を利用しているケースが23.5%と高くなっています。製造業においては、非製造業と比べて「求人媒体」の利用が少なく、「人材紹介」の利用が多いのは、企業の知名度が不足している可能性が考えられます。求人方法では「ハローワーク」が全体の半数を占めている状況ですが、現在人材不足の課題が解決していない状況を鑑みると、ハローワークだけでなく他の採用方法も積極的に活用していかなければ人材不足は解決しないと思われます。

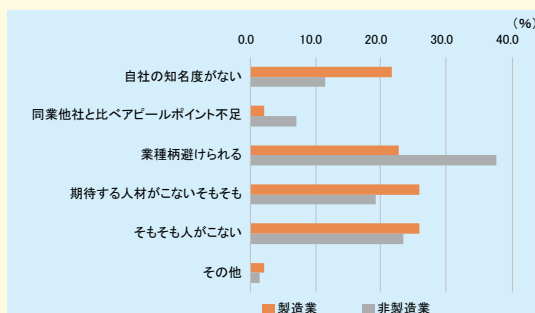


(図9) 求人方法

出典：当行実施アンケート

○求人ですべて困っていること

求人ですべて困っていることの項目については、製造業では「そもそも人がこない」25.8%、「期待する人材がこない」25.8%という回答が最も高く、非製造業では「業種柄避けられる」という回答が最も高く37.6%という結果となりました。また、製造業では「知名度がない」という悩みも非製造業に比べ高い結果となっていることが見て取れます。

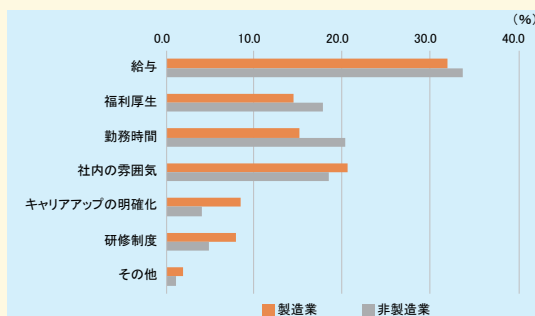


(図10) 求人ですべて困っていること

出典：当行実施アンケート

○企業が求人募集の際に重要だと思う項目

求人募集の際に重要だと思う項目については、「給与」が最も高く製造業で31.9%、非製造業で33.6%となっています。次に製造業では「社内の雰囲気」が20.5%、非製造業では「勤務時間」が20.3%と高くなっています。

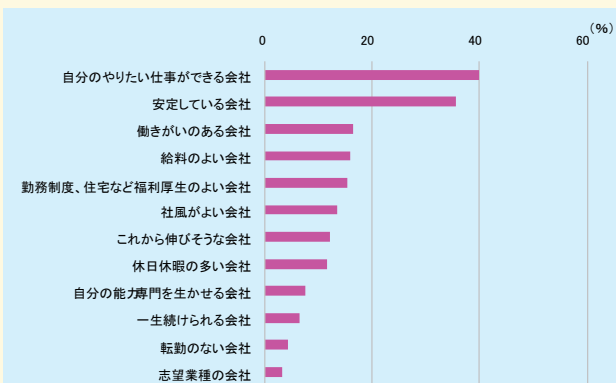


(図11) 企業が求人募集の際に重要だと思う項目

出典：当行実施アンケート

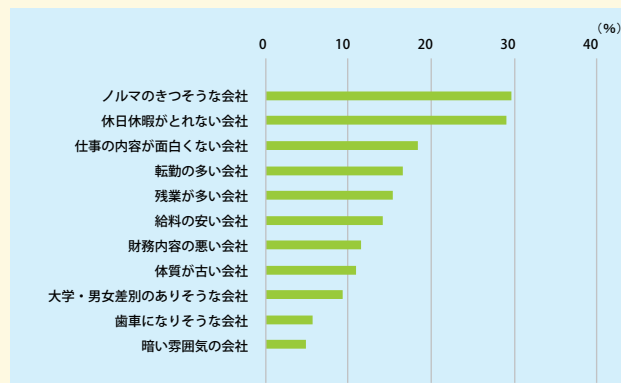
○就職する側が重要だと思う項目は「自分のやりたい仕事ができる会社」

では、就職する側が重要だと思う項目はなんのでしょうか。(株)マイナビが大学3年生と大学院1年生に行ったアンケートを見ると(図12)、企業選択のポイントとして「自分のやりたい仕事ができる会社」が40%、次に「安定している会社」が35%となっています。また、行きたくない会社には「ノルマのきつそうな会社」が30%、次に「休日・休暇がとれない会社」が28%となっています。求人企業は、就職する側の意識に答えることができる採用活動を行う必要があると思われます。



(図12) 新卒予定者の企業選択のポイント

出典：(株)マイナビ

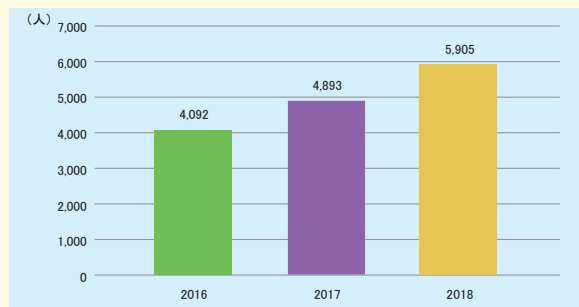


(図13) 新卒予定者が行きたくないと思う会社

出典：(株)マイナビ

○外国人技能実習生の活用が増加

外国人技能実習生の活用も近年非常に多くなってきています。図14より富山県内においても2016年比で約1.4倍の人数が外国人技能実習生として登録されており、高い伸びとなっています。2017年11月に技能実習法が改正により、技能実習期間が最長5年になるなど技能実習生の拡充が図られました。今後一層、外国人技能実習生の活用が進むと考えられます。



(図14) 富山県内の外国人技能実習生数の推移

出典：富山県外国人住民在留資格別市町村人員表

○まとめ

人口減少が進み、人手不足がますます深刻になることが見込まれる中、中小企業にとっては労働生産性を高め、稼ぐ力を強化していくことが重要となってきます。AI・IoT等を活用し人手が少なくても生産性の高い業務となるよう見直す、業務の効率化を進めるためにAIやIoTを活用する、有望な人材を採用する、女性やシニア世代を活用するなど人材不足に対して様々な角度から対策を講じていく必要があります。

○アンケート結果からみえる、人材不足の解決方法

当行では企業の課題を解決するための様々な支援を行っています。また政府機関等とも提携し課題解決ソリューションの提供ができる体制を作り上げています。

✓人手が少なくても仕事ができる体制づくり・・・「業務効率化」

アンケート結果にもあったように、企業が一番すすめているのが業務効率化です。当行ではIoTを活用した業務効率化システム導入支援を行います。

✓ハローワークだけでは人材が集まらない・・・「幅広い求人方法の確立」

様々な方法で求人を行い、いかに能力ある人材を確保できるか。当行では、人材紹介会社と提携し中小企業の人材獲得のための人材会社紹介を行っております。

✓新規採用したい・・・「企業認知度のアップ」「人事制度の構築」

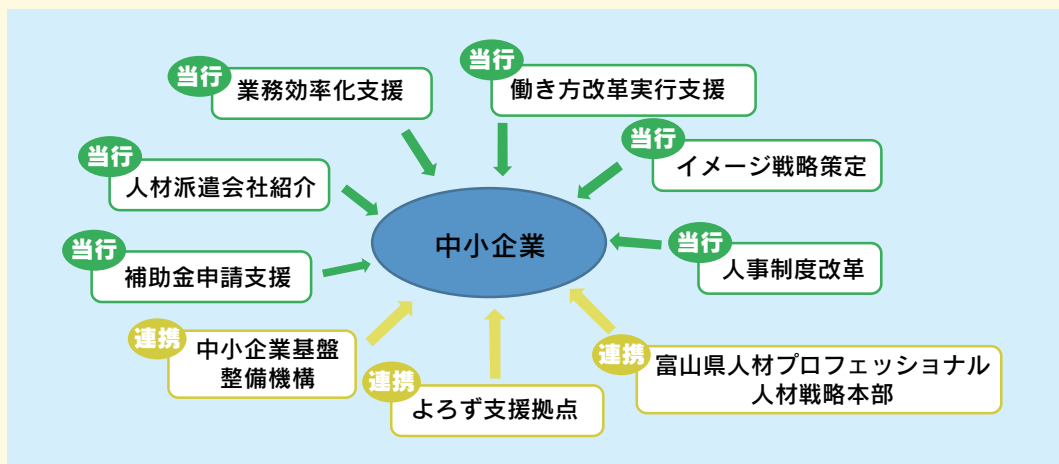
新卒求人に関しては、売り手状態が続いており、企業の認知度アップ、イメージアップが不可欠となっています。当行にて認知度アップのための企業イメージ戦略支援や人事制度の構築支援を行います。

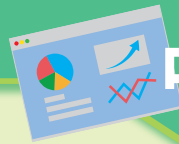
✓女性も高齢者も働き続けてもらうために・・・「働き方改革」

厚生労働省が目指す「働き方改革」を実行するために、中小企業にとっても働き方改革が迫られています。「働き方改革」によって、有望な人材の確保、女性やシニア層人材の確保を行い、さらに生産性を高めることができます。

✓公的支援制度の活用・・・「補助金、助成金の活用」

ものづくり補助金、IT導入補助金、雇用関係助成金を活用することで生産性向上を図ることができます。





中小企業動向調査

この調査は富山県内企業334社を対象に実施し、242社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、令和元年7月～9月の実績、令和元年10月～12月の見込み、令和2年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

日本銀行富山事務所が11月13日に公表した「富山県金融経済クォーター（2019年秋）」によると、「富山県の景気は、引き続き拡大基調にあるが、その速度は一段と穏やかになっている。最終需要をみると、個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善が続くもと、着実に持ち直している。住宅投資、設備投資は、高水準で横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、増加している。」としている。

調査時期：令和元年10月上旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製造業	139	102	73.4%
非製造業	195	140	71.8%
計	334	242	72.5%

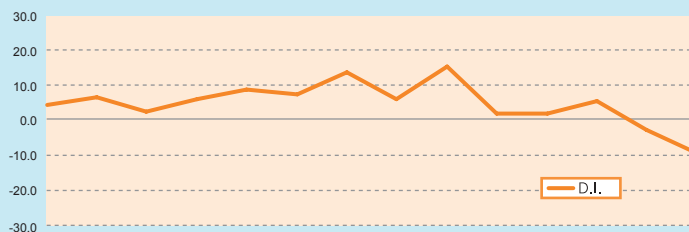
I 企業概況

企業概況の推移

(全産業)

(%)

期別 種別	28年		29年				30年				31年		元年		見込 10~12月	予測 1~3月
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
良い	16.3	19.7	14.0	17.5	18.2	18.6	24.8	21.6	23.8	19.3	21.3	22.7	12.9	10.0		
普通	71.9	67.1	74.5	71.0	72.4	70.4	64.2	62.8	68.0	63.2	59.2	59.9	71.3	70.3		
悪い	11.8	13.2	11.6	11.5	9.5	11.1	10.9	15.6	8.2	17.5	19.4	17.4	15.8	19.7		
D.I.	4.5	6.5	2.4	6.0	8.7	7.5	13.9	6.0	15.6	1.9	1.9	5.4	-2.9	-9.6		



(うち製造業のみ)

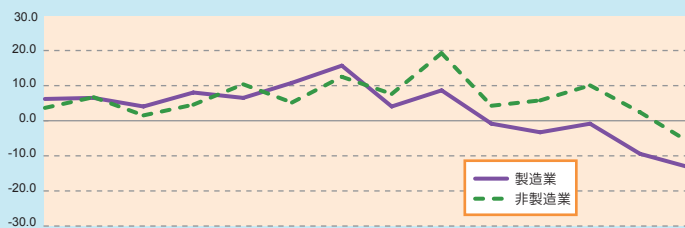
(%)

期別 種別	28年		29年				30年				31年		元年		見込 10~12月	予測 1~3月
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
良い	18.0	22.9	17.3	22.5	17.9	22.5	29.0	20.8	19.6	16.7	21.4	22.5	9.9	8.8		
普通	70.0	60.7	69.2	63.0	70.5	65.8	57.9	62.3	69.6	65.5	53.6	53.9	70.3	68.5		
悪い	12.0	16.4	13.5	14.5	11.6	11.7	13.1	16.9	10.9	17.9	25.0	23.5	19.8	22.5		
D.I.	6.0	6.4	3.8	8.0	6.3	10.8	15.9	3.9	8.7	-1.2	-3.6	-1.0	-9.9	-13.7		

(うち非製造業のみ)

(%)

期別 種別	28年		29年				30年				31年		元年		見込 10~12月	予測 1~3月
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
良い	14.9	17.1	11.2	13.6	18.4	15.5	22.2	22.1	26.2	21.1	21.3	22.9	15.1	10.9		
普通	73.6	72.4	78.9	77.3	73.6	73.9	68.3	63.1	67.1	61.7	63.0	64.3	71.9	71.5		
悪い	11.6	10.6	9.9	9.1	8.0	10.6	9.6	14.8	6.7	17.2	15.7	12.9	12.9	17.5		
D.I.	3.3	6.5	1.2	4.5	10.4	4.9	12.6	7.4	19.5	3.9	5.5	10.0	2.2	-6.6		



- 富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は今回調査の令和元年7~9月期では、5.4ポイントとなり、3.5ポイント前期比改善した。
「良い」の回答ポイントは減少したが、「悪い」の回答ポイントもやや減少し、「普通」の回答が増加。先行きについて、D.I.はマイナスポイントとなり、悪化予想となっている。
- 製造業と非製造業に分けてみると、どの業種も前期比改善しているが、製造業は依然、マイナスポイントである。
先行きについても、悪化予想となり、ポイントは低下している。
令和2年には、製造業、非製造業ともD.I.はマイナスポイントとなっている。
マイナスポイントの大きい業種は、製造業では「木材業」「機械工業」「電子部品製造業」となっている。非製造業では、「機械器具販売」「土木業」となっている。

II 売上高状況

売上高状況

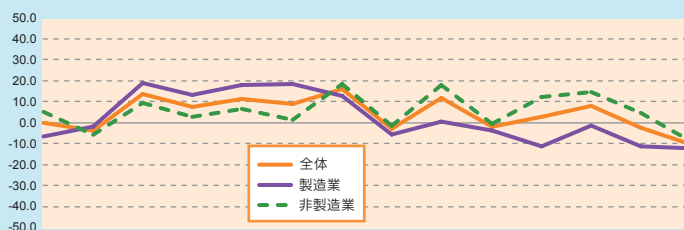
期別 種別	28年														見込		予測
	29年				30年				31年		元年				2年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加	26.2	24.3	33.6	30.1	30.7	31.2	31.0	21.7	25.3	21.1	25.6	25.8	16.5	12.9			
横ばい	48.2	47.8	47.1	47.8	50.4	47.0	54.7	54.0	61.5	56.3	52.1	56.7	65.3	64.3			
減少	25.7	27.9	19.4	22.1	18.9	21.8	14.2	24.2	13.2	22.5	22.3	17.5	18.2	22.8			
D.I.	0.5	-3.5	14.2	7.9	11.8	9.5	16.8	-2.5	12.1	-1.4	3.3	8.3	-1.7	-10.0			

うち製造業のみ

期別 種別	28年														見込		予測
	29年				30年				31年		元年				2年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加	25.8	26.3	40.9	36.7	39.2	36.9	29.9	19.5	18.3	17.6	21.4	22.8	8.8	10.8			
横ばい	42.6	46.1	37.9	40.3	40.0	45.0	53.3	55.8	64.5	61.2	46.4	53.5	71.6	66.7			
減少	31.7	27.7	21.2	23.0	20.8	18.0	16.8	24.7	17.2	21.2	32.1	23.8	19.6	22.5			
D.I.	-5.9	-1.4	19.7	13.7	18.3	18.9	13.1	-5.2	1.1	-3.5	-10.7	-1.0	-10.8	-11.8			

うち非製造業のみ

期別 種別	28年														見込		予測
	29年				30年				31年		元年				2年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加	26.5	22.8	27.6	24.8	24.8	26.8	31.7	23.1	29.3	23.4	28.3	28.1	22.1	14.4			
横ばい	52.9	49.1	54.6	53.7	57.6	48.6	55.7	52.9	59.8	53.1	55.9	59.0	60.7	62.6			
減少	20.6	28.1	17.8	21.4	17.5	24.6	12.6	24.0	11.0	23.4	15.7	12.9	17.1	23.0			
D.I.	5.8	-5.3	9.8	3.4	7.3	2.1	19.2	-0.8	18.3	0.0	12.6	15.1	5.0	-8.6			



- ① 売上高は、今回の調査のD.I.は8.3となり、前期比5.0ポイント改善となった。売上が減少した企業は少なかった。
先行きについては、売上高が増加予想の企業が少なくなる回答となり、D.I.もマイナスポイントとなっている。
- ② 製造業と非製造業に分けてみると、製造業、非製造業ともに改善となっている。
但し、製造業ではD.I.はマイナスポイントであり、「減少」とのポイントが高い状況が続いている。
先行きについては、どの業種も来年の1～3月期には悪化予想となっている。

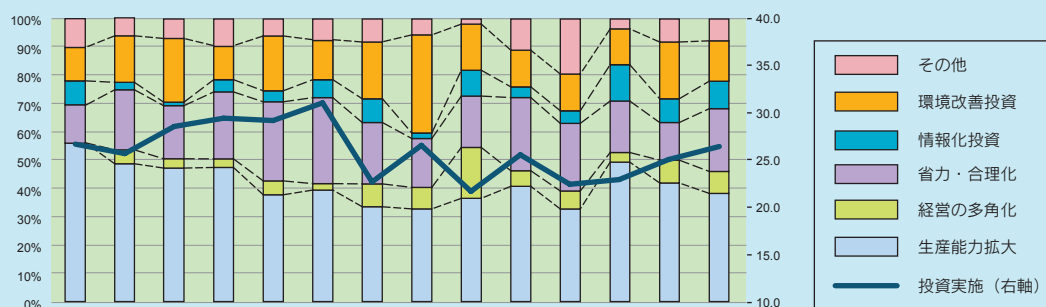
III 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	28年		29年				30年				31年	元年			2年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
投資実施	26.6	25.6	28.5	29.4	29.2	31.1	22.6	26.5	21.7	25.5	22.3	22.8	25.0	26.4	
投資せず	73.4	74.4	71.5	70.6	70.8	68.9	77.4	73.5	78.3	74.5	77.7	77.2	75.0	73.6	

設備投資の目的（実施先について）

	（%）													
生産能力拡大	55.9	48.8	47.1	47.3	37.8	39.2	33.3	32.7	36.4	40.7	32.6	49.1	41.7	38.1
経営の多角化	0.0	5.0	3.5	3.2	4.9	2.5	8.3	7.7	18.2	5.6	6.5	3.6	8.3	7.9
省力・合理化	13.6	21.3	18.8	23.7	28.0	30.4	21.7	17.3	18.2	25.9	23.9	18.2	13.3	22.2
情報化投資	8.5	2.5	1.2	4.3	3.7	6.3	8.3	1.9	9.1	3.7	4.3	12.7	8.3	9.5
環境改善投資	11.9	16.3	22.4	11.8	19.5	13.9	20.0	34.6	16.4	13.0	13.0	12.7	20.0	14.3
その他	10.2	6.3	7.1	9.7	6.1	7.6	8.3	5.8	1.8	11.1	19.6	3.6	8.3	7.9

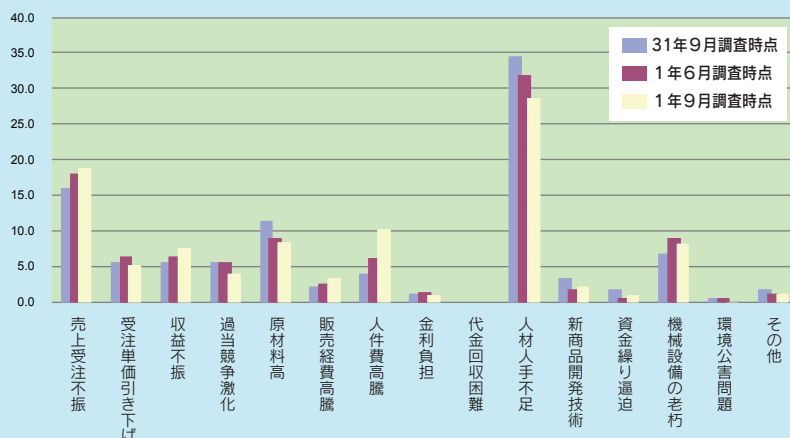


- ① 今回の調査では、設備投資を実施した企業は22.8%となり、前期とほぼ横ばいであった。先行きについては、徐々に増加する予想となっている。
設備投資の実施した目的については、「生産能力拡大」が最も多く、次に「省力・合理化」「環境改善投資」「情報化投資」となっている。
今後実施予定の目的別でも、「生産能力拡大」「省力合理化」「環境改善投資」とするポイントが高い。
- ② 設備投資をしたポイントの高い業種は、製造業では、「医薬品製造業」「機械工業」であり、非製造業では、「土木業」「建築業」となっている。
先行きについては、設備投資予定の高い業種は「木工建具製造業」「出版印刷紙加工業」となっている。

IV 当面の経営上の問題点

(%:複数回答あり)

	31年9月 (前年同期)	1年6月 (前回)	1年9月 (今回)	前回は増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	16.0	17.9	18.9	(21.7)	(16.7)	1.0
受注単価引き下げ	5.6	6.4	5.2	(6.1)	(4.4)	-1.2
収益不振	5.6	6.4	7.6	(7.2)	(7.9)	1.2
過当競争激化	5.6	5.5	3.9	(2.8)	(4.8)	-1.6
原材料高	11.3	9.0	8.4	(10.6)	(6.6)	-0.6
販売経費高騰	2.1	2.6	3.4	(4.4)	(2.6)	0.8
人件費高騰	3.9	6.1	10.1	(6.7)	(12.8)	4.0
金利負担	1.2	1.4	1.0	(1.1)	(0.9)	-0.4
代金回収困難	0.0	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	0.0
人材・人手不足	34.4	31.8	28.7	(26.1)	(30.8)	-3.1
新商品開発技術	3.3	1.7	2.2	(3.9)	(0.9)	0.5
資金繰り逼迫	1.8	0.6	1.0	(0.6)	(1.3)	0.4
機械設備の老朽	6.8	9.0	8.1	(8.3)	(7.9)	-0.9
環境公害問題	0.6	0.6	0.2	(0.0)	(0.4)	-0.4
その他	1.8	1.2	1.2	(0.6)	(1.8)	0.0



- ① 今回、問題点として最も高いポイントとなったのは、「人材・人手不足」28.7%であった。次に、「売上受注不振」18.9%、「人件費高騰」「原材料高」「機械設備の老朽」の順となっている。

「人材・人手不足」は前期よりややポイントは減少したが、最も高いポイントとして変わっていない。

- ② 業種別でも、「人材・人手不足」とするポイントが最も高く、製造業は26.1%、非製造業では30.8%となっている。

個別に高いポイントの業種は、「医療福祉サービス」60.0%、「宿泊業」50.0%「土木業」「建築業」の順となっている。

I 製造業

- 業況判断指数は、1年7～9月の実績は、前期比やや悪化しているが、1～3月期比では大幅な改善となった。先行きについては、年末に向けて悪化する予想となっている。経営上の問題点では、「人材・人手不足」が最も高いポイントであり、次に「原材料高」「販売経費高騰」等があがっている。
- 業況判断指数は、前期比悪化しており、先行きについても、悪化予想となっている。売上高状況も悪化予想となっている。設備投資は生産能力拡大に向けて積極的に行われている。経営上の問題点では「原材料高」が高いポイントとなっている。
- 業況判断指数、売上高状況とも前期比改善するが、ポイントはマイナスであり、「悪い」状況。先行きについては、悪化予想となっている。経営上の問題点として、「売上受注不振」とするポイントが高くなっており、厳しい状況が続いている。
- 売上高状況指数は、前期比大幅に悪化している。業況判断指数も悪化しており、ポイントもマイナスポイントとなっている。先行きについてはやや改善の予想であるが、ポイントはマイナスとなっている。経営上の問題点としては「売上受注不振」のポイントが最も高く、40%の企業が回答をしている。
- 業況判断指数は、前期比悪化の状況である。毎期ポイントは上下しており、先行きについては改善を見込む。売上高状況は悪化してきている。経営上の問題点は、「人材・人手不足」が最も高いが、「原材料高」のポイントも高くなっている。
- 業況判断指数、売上高状況は前期比やや改善となるが、収益状況は改善している。先行きについては悪化を予想しており、収益状況も悪化の予想となっている。経営上の問題点は、「人材・人手不足」が多い最も多いが「設備投資の老朽化」も高いポイントとなっており、設備投資が必要となっている。
- 業況判断指数は、前年同期比改善となっている。先行きは悪化予想となっている。経営上の問題点は、「売上受注不振」が突出して高いポイントとなっている。
- 業況判断指数、売上高状況は前期比改善したが、先行きについては年末に悪化するも、年初は改善する予想となっている。経営上の問題点では「人材・人手不足」があがっている。

II 非製造業

- 業況指数は、31年7～9月は前期比改善となった、先行きについては、やや悪化の見通しとなっている。売上高状況も同様の予想となっている。例年1～3月は売上が減少している。東日本建設業保証(株)によると、公共工事の発注高は4月から7月までの前年比較では35%増加となっている。公共工事の発注は増加しているようであり、今後も工事発注増加が期待される。
- 当行調査の業況判断指数において、年内は前期比改善が見られたものの、年明けからは悪化する予想となっている。住宅着工件数も前年同期比で減少推移となっており、消費税増税が影響していると考えられる。経営上の問題点は、「人材・人手不足」が高いポイントとなっている。
- 富山県自動車販売協会によると、富山県のH31年1月～R1年10月の新車販売台数では前年同期比減少となっている。例年販売台数の多い3月の比較では、90.3%となった。また、毎月2千台超の販売が、10月は下回り、前年同期比67.9%と減少している。
- 売上高状況は今回調査では、前期比改善となった。先行きについては、悪化予想となっている。経営上の問題点では、「人材・人手不足」のポイントが最も高く、次に「売上受注不振」「原材料高」の順になっている。
- 経営上の問題点では、「人材・人手不足」、「売上受注不振」のポイントが高い。業況判断指数、売上高状況は、前期比悪化となっているが、先行きでは改善を予想している。北陸新幹線の全線復旧により、入込客数増加に期待したい。
- 業況判断指数、売上高状況とも前期比改善となっている。消費税の引き上げによる効果がでると予想からか、先行きについては悪化の見通しとなっている。経営上の問題点として、「売上受注不振」「収益不振」が高いポイントとしてあがっている。
- 経営上の問題点では、「人材・人手不足」とするポイントが50%以上で推移している。高齢者が増加するなか、福祉関連施設が増加する一方、人材人手不足の解消は厳しい状況。また、「設備の老朽化」も高いポイントである。

私たちが行ってきました!

ちょっと
ひといき

First特集 食パン編



1 食パン工房 春日

小麦の旨味を贅沢に味わえる

今年6月富山に初上陸!フレッシュバターと乳脂肪の濃い高級生クリームを贅沢に使い、ほどよい甘さと小麦の風味がしっかりと感じられる食パンです。

まずはそのままでしっとりした食感を、次にトーストしてサクとした香ばしさも味わってみてください!



婦中本店外観



フランス産エシレバターやイチジク、マロンなど珍しいフレーバーのジャムがあります

MENU

食パン一本 (1.5斤) 650円
ジャム 完熟いちじく 860円
完熟もも 860円
※その他商品あり

住所 婦中本店 富山市婦中町下轡田161-2
☎076-461-7015

営 全店9時~ (休) 年中無休

P 3台 TELでのお取り置きも可

2 食パン専門店ファイブ

神戸で修行を積んだ女性パン職人がつくる
こだわりの食パン

ファイブの食パンは、湯種を使ったふんわりもちもちな食パンです。国産小麦粉を100%使用し、長時間熟成させることにより自然な甘さを引き出した小麦の香りが漂う食パンです。毎月味が異なる季節の食パンが人気!

2019年10月に射水市に直営店をオープン。

CiCビルやフレッシュ佐武、JA菜っちゃん太閤山店等で販売しています。

取扱店ごとに限定食パンがあるので、限定食パン探しに取り扱いスーパー等を巡ってみるのもオススメです!



柔らかくてふわふわです。
北海道産の小麦を使用しています♪



山食パン

オレンジ食パン



オレンジピールの食感と甘味が美味しかったです

MENU

食パン 山食パン (1斤) 756円
オレンジ食パン (1斤相当) 540円
あん食パン (1斤相当) 648円
※その他商品あり

直営店 射水市鷺塚57-1 (いみず内科クリニック敷地内)
☎0766-75-9998

営 17時~19時 (休) 月曜、土曜、日曜

P 8台 TELでのお取り置きも可

f @shokupan_5

最新情報はFacebookまたはInstagramでチェックしてください。



少し厚切りに切ってトーストし、バターをつけて食べるのがおすすめのこと!
朝から高級食パン×バターでプチリッチな気分になれます♡

3 焼きたて食パン専門店 一本堂 富山布瀬店

種類豊富! 手頃にいろんな味が楽しめる♪



売れ筋の
レーズン食パン!



ジャムの種類も
豊富です☆



毎日時間帯によって
焼くパンが違うので
事前にインスタか電話で
確認していくのが
オススメ!



住所 富山市新根塚町2丁目9-9 ☎076-482-5925

営 10時～19時(日曜のみ 10時～18時)

休 木曜・祝日

P 3台 TELでのお取り置きも可

📷 @ippondo_toyama_nunose

MENU

プレーン …… 280円 レーズン …… 390円
高密度食パン… 340円 チーズ …… 480円ほか
低糖質食パン… 480円 ※その他商品あり

4 乃が美 はなれ

そのまま食べてもおいしい高級「生」食パン

ふわふわ
モチモチです! /



すでにご存知の方も多い「乃が美」。
甘みが強いのが特徴で、耳まで柔らかく、トーストせずに
そのまま食べてもおいしい食パンです。
高級感があり、手土産としても喜ばれています!

MENU

食パン 1斤 …… 432円
2斤 …… 864円
ジャム各種 1本 … 1080円

一斤は人気のため、TELでのお取り置きがオススメ!



ギフトにもオススメです!



富山店 住所 富山市永楽町28-11
☎076-471-8785

営 11時～19時 ※完売次第終了 休 火曜 P 10台

ほかに砺波店もあります(水曜定休 ※1月～火曜定休)

両店ともTELでのお取り置き可

★滑川店が1月オープン予定

📷 @nogami_toyama

5 みうらはん

食パン推しの店主が焼く食パン

滑川のまちなかに位置するパン屋さん。食パンが特に
美味しいと評判です。

店主も推す食パンは、塩とバターにこだわっており、持
つとずっしり重たいです。とってもモチモチとしている
ので食べ応えがありますよ。朝食にいかがですか?



中滑川駅から徒歩2分
可愛い外観を探してください

みうらはんの食パンの種類は3つ!



MENU

食パン プレーン …… 300円
レーズン …… 340円
くるみ …… 420円

住所 住所 滑川市田中新町109-1 ☎076-475-6678

営 9時半～18時半 休 日曜、不定休

P 3台 TELでのお取り置きも可


📷 @miumiuraru

月初にSNSにて営業カレンダー記載しています。
食パン以外のパンも販売しています。



食パン専門店ではないので
ほかのパンもたくさん揃ってます
何を買うか悩みます!

中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

売上UP
どうすれば…

販路拡大
方法は…

企業の常備薬として

人材育成
進まない…

後継者
決められない…

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>